

近畿高体連サッカー部
公式記録

会場責任者	主審サイン
西村 広輔	山田 颯一郎

大会名	平成30年度 第71回近畿高等学校サッカー選手権大会(男子)	1回戦	⑧	平成30年6月16日 (土)	競技時間	70分	記録者	野間 幹生	
会場	J-GREEN堺 S5	天候	晴	強弱	芝	状態	良好	審判	主審 山田 颯一郎 氏 副審 A1 道山 悟至 氏 A2 石橋 義之 氏

【チーム名】	金光 大阪 高等学校 (大阪府3位)	kick off	1 前半 0	【チーム名】	東 山 高等学校 (京都府1位)	kick off	2 先 2
--------	-----------------------	----------	--------	--------	---------------------	----------	-------

背番号	5 8 6 7 10	先	2	背番号	9 8 11 18 3	先	2
○ ×	○ × × ○ ○			○ ×	○ × ○ ○ ○		

交代時間	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	交代時間
------	----	----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	------

分			2	中原 光一	21	GK	GK	1	荒木 光汰	3	分
分			3	永野 智哉	2	DF	DF	2	木下 誠太	2	分
分		* 2	3	門口 哲士	3	DF	DF	3	井上 竜稀	3	分
分		1	3	福田 玲央	4	DF	DF	4	飯田 敏基	3	分
分		1	3	榎木 怜	⑤	DF	DF	5	見上 端紀	2	分
分			3	佐藤 凌	6	MF	MF	6	片岡 宥人	3	分
分		* 1	3	小林 映斗	7	MF	MF	7	宇賀神 拓世	3	分
分		1	3	竹内 壮平	8	MF	MF	⑧	倉貴 直人	3	分
53分			3	糸川 遥樹	11	FW	FW	9	長坂 大陸	3	分
HT分			3	山中 稀海	14	FW	FW	10	久乘 聖亜	3	分

交代選手	60分		1	3	山本 晃太郎	25	FW	FW	18	中山 翔	2	分
------	-----	--	---	---	--------	----	----	----	----	------	---	---

交代要員

番	分		3	上野 友輔	1	GK	GK	17	古高 龍生	3	分
番	分		3	富嶋 陸	12	DF	DF	13	松井 駿也	3	分
番	分		2	宮武 隼人	23	DF	MF	16	森田 勇真	3	分
番	分		3	辻 翔太郎	9	MF	MF	20	藤原 海季	3	分
14番	分		3	山名 慎太郎	13	MF	MF	23	前田 祥汰	3	分
25番	分		3	榎本 翔央	16	MF	MF	25	矢原 直杜	3	分
11番	分		3	角田 龍亮	10	FW	FW	11	大八木 陽一	3	分
番	分		3	天本 侑	15	FW	FW	22	中村 将吾	2	分
番	分		3	古川 善教	24	FW	FW	24	片岡 篤志	3	分

合計	6	2	小計	8	合計	6	小計	2	4
----	---	---	----	---	----	---	----	---	---

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
警告	57分	4	福田 玲央	ラフ	8			2	6	G K	3	6			9					
	分				2			1	1	C K	1	0			1					
	分				4			1	3	直接 FK	4	4			8					
	分				0			0	0	間接 FK	0	1			1					
	分				1			1	0	P K	0	0			0					

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過									
	8分	金光大阪	小林 映斗	竹内 壮平	(右)⑧ n (中央)⑦ S									
	36分	東山	長坂 大陸	倉貴 直人	(中央)⑧ n こぼれ球 (中央)⑨ S									
	38分	東山	中山 翔	木下 誠太	(右)② n (中央)⑩ S									
	70+2分	金光大阪	門口 哲士		PK③ S									
	分													

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス n :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート × :混戦 S :シュート
 オウンゴール こぼれ球 (中央) (右) (左) 直接FK 間接FK GK 右CK 左CK スローイン バー返り ポスト返り

戦評者氏名 (相 良 和 樹) 勤務先又は所属 (大阪府立 柴島高等学校)

金光大阪は1-4-3-3、東山は1-4-4-2でキックオフ。序盤は両チームともシンプルにロングボールを使い、前線からプレスをかけて、高い位置でボールを奪いに行く。東山は粘り強い守備からボールを奪い、シンプルに繋いでゴールを目指す。金光大阪の連動した守備に対してボールを失ってしまう。金光大阪は3FWをターゲットにフィードすると、素早い押し上げから2ndボールを回収し、SB、SHのオーバーラップからサイドを崩しチャンスをつくる。8分にクロスボールを合わせて先制する。その後はMF、FWが流動的にポジションチェンジしながら、長短のパスを織り交ぜサイドチェンジを交えてピッチを広く使い攻撃を組み立てる。東山DFも粘り強く対応し前半は1-0で折り返す。後半開始1分に東山は相手のプレッシャーが緩くなった隙をついて、ミドルシュートを決めて1点を返す。東山は選手の距離感を近くすることで、ワンツーや3人目の動きが増え、素早くボールを動かし、シュートチャンスをもく作ることに成功する。後半3分に2点目を奪い逆転。金光大阪はCBを前線に上げてパワープレーでシュートを狙うが、東山も自陣に引いて粘り強く守備をする。終了間際に金光大阪がPKで同点に追いつき、PK戦へ突入。PK戦はGK①荒木が2本をセーブし、東山が4-3で勝利をものにす